

長尾小だより

第11号

平成26年3月20日（木）

【76名の6年生が卒業します】

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

24日、76名の6年生が卒業します。在校生と6年生は、卒業式を前に在校生との式の練習や6年生の企画による在校生との交流などに取り組んできました。

<卒業式の練習>

朝の時間を使って、6年生は音楽室で3、4、5年生は体育館で歌の練習をしてきました。1時間目は体育館で合同の練習、2時間目は6年生だけの練習にも取り組みました。

呼びかけや歌、卒業証書のもらい方など当日の卒業式がしっかりとできるように、子供たちは真剣に、何度も練習してきました。卒業生にとっては6年間の数々の思い出の最後の行事として、在校生にとっては6年生と取り組む最後の行事として重要な卒業式だからです。

卒業証書を渡すとき、子供と私は2回視線が合います。1度目は壇上にあがり、演台の前に立って礼をする直前です。2度目は卒業証書を両手で受け取り礼をする直前です。6年生には、練習の中で、「言葉には出せないけれど1度目に『卒業おめでとう』2度目は『中学校に行ってもがんばって』という気持ちを込めているからしっかりと見てください」と話しました。もう、当日それぞれの子供たちに渡す卒業証書の授与を残すだけになってしまいました。子供たちがこれからも活躍してくれることを思い、当日の卒業式に臨みたいと思います。

<6年生企画の交流会>



【ドッジボールの班分け・説明】

3月11日、13日に読み聞かせとドッジボールをとおして在校生との交流をはかる催しを6年生が企画しました。子供たちは事前に、読み聞かせの練習をしたり、ドッジボールの試合の進め方を決めたりしました。また、在校生全員の班分けをして招待状を作成し、一人一人説明をして渡しました。



【在校生の呼びかけの練習】



【読み聞かせの様子】